



## 〇〇は嘘をつかない

校長 仲川 由佳理



さわやかな秋晴れの下、運動会が行われました。今年は、保護者の方の入場に制限もなく、体育館も休憩場所として開放して、自由にお子さんの競技や演技を参観していただきました。コロナ禍前の運動会の様子を知る職員も少なくなりましたが、近隣の小学校の運動会の様子を情報共有しながら当日に備えてきました。子どもたちの精一杯輝く姿が見られ、本当に素晴らしい日となりました。保護者の皆様には、子どもたちへの温かい声援や、最後の後片付けにもご協力くださり本当にありがとうございました。また、この日のために、PTA本部役員の皆様、おやじの会の皆様には多大なるご協力を賜り、無事運動会を終了することができました。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。学校運営協議会委員の方々は、「低学年は可愛らしさ、高学年は逞しさを感じるね～」と、6年間の子どもの成長の様子を、一度に目の前で参観できることに感動されていました。

9月下旬までWBGTの数値が高く、校庭や体育館での練習も取りやめになることも多く、熱中症が危ぶまれる日が続きました。先生方は、練習スケジュールを変えざるを得ない日々でした。教室で音楽をしっかりと聞き取り、振り付けのビデオを見ながら覚えようとする子どもたちの視線は、真剣そのものでした。運動会という大きな行事に向けて、子どもたちと先生方の思いが一つになり、一生懸命演技する姿が当日の輝く姿に繋がったのだと思います。まさに「練習・努力は嘘をつかない」の言葉に匹敵すると感じました。運動会終了後、教室に戻った子どもたち自身はやり切ったという達成感があふれた事でしょう。また、先生方から「頑張ったね!」「すごい上手だったね!」の価値づけがあり、練習を重ね努力する姿は、必ず本人の成果に結び付くことに繋がると子どもたちも実感したことと思います。スポーツ競技のみならず音楽や文化的分野において、すべてに繋がるこの言葉は、今後さらに自分の得意とする分野を伸ばし、同時に苦手なことや辛いことにもチャレンジするきっかけとして、人生の中で大切にしてほしいと思いました。

※脚を痛めている自分が整体師に言われた言葉の中に、「筋肉は嘘をつかない」という言葉を伝えられました。筋力を高める運動をせずに「痛い、痛い」というな…と解釈しました。自分こそ、チャレンジが必要でした…。